

小・中学校における 租税教育指導事例集

令和7年3月

登米市租税教育推進協議会

発刊に寄せて

登米市租税教育推進協議会並びに租税教育推進協力者の皆様のご尽力をいただき、ここに「令和6年度租税教育指導事例集」が刊行されますことを心からお喜び申し上げます。

「納税」は「勤労」「教育」とならんで、国民の三大義務の一つです。収められた税金は「国民の健康で豊かな生活」を実現するために、国や地方公共団体が行う活動の財源となり、年金・医療などの社会保障・福祉や、私たちの生活を守る水道・道路等、社会インフラの整備、そして教育・警察など公的サービスを運営する費用に充てられます。

このように国民が互いに助け合い、共によりよい社会を作っていくために必要な制度であることを、広く理解していくことはとても大切です。

近年、こうした公的サービスの重要性を認識する機会が多く感じられます。例を挙げますと、2月末に発生した、大船渡の大規模山林火災からの復旧・復興、また、次世代の社会を担う子供一人ひとりの育ちを社会全体で応援するための経済的な負担の軽減や環境整備などです。このように、税金のおかげで我々の生活が保障されているとともに、財政面からも税が支えていることを考えますと、租税教育について学習し、興味をもち、見聞を深め、理解していくことは大事な取組と考えております。

本年度も関係団体の皆様との連携・協調により、小学校20校、中学校5校、高等学校1校で租税教室が開催され、税金についてのより専門的な学習が進められたことは、誠に有意義であり、その推進にあたっていただいた各校のご努力に敬意を表しますとともに感謝を申し上げます。

さらに本書では、授業での租税教育指導の進め方について、具体的な実践事例が紹介されています。いずれの学校でも児童生徒に「税」について分かりやすく理解させるため、工夫を凝らして取り組んでおり、今後の租税教育活動に大変参考になる内容となっています。各小・中学校におかれましては、ここに紹介されています租税教育実践事例を、今後ぜひ参考にさせていただきたいと思っております。

結びに、各小・中学校及び高等学校で租税教育の推進にご協力いただいた先生方のご努力とご支援、並びに本事例集の取りまとめに当たられました皆様のご尽力に心から感謝を申し上げ、発刊に際しての挨拶とさせていただきます。

令和7年3月

登米市租税教育推進協議会会長
登米市教育委員会教育長

小野寺 文晃

目 次

小学校指導事例（租税教育推進協力者名簿順）

① 第6学年	浅水小学校	教諭	佐藤 まゆみ		1
② 第6学年	錦織小学校	教諭	佐藤 正彦		2
③ 第6学年	石越小学校	教諭	菅原 裕太		3

中学校指導事例（租税教育推進協力者名簿順）

① 社会科	佐沼中学校	講師	上村 一帆		4
② 社会科	中田中学校	講師	菅原 由美		5

令和6年度 租税教育推進協力者		6
-----------------	-------	---

令和6年度 登米市租税教育推進協議会 構成員名簿		7
--------------------------	-------	---

歴代租税教育推進協力者		8
-------------	-------	---

租税教育実践レポート

わたしたちのくらしと税金の関わり

登米市立浅水小学校教諭 6学年 佐藤 まゆみ
実施年月日：令和6年5月29日 13名

1 実践計画・指導のねらい

児童は「税金」という言葉は耳にしたことはあるが、それが何を表し、どのような働きをしているかを理解できている児童は少ない。そこで、本単元では、社会科の学習やゲストティーチャーを招いての「租税教室」を通して、税金の働きや使われ方について正しく理解するとともに、その重要性や自分の生活に深い関わりがあることについて気付かせていきたい。

2 単元構成・実際の指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問（○），こどもたちの反応（●），使用教材等（□）
1	【国の政治のしくみと選挙】 ・選挙のしくみや税金の働きについて調べ，国会の役割や税金とくらしの関わりについて理解する。	○ <u>あなたならどの候補者に投票しますか。</u> ● 子育て支援を考えている候補者がいいなあ。 ● 高齢者に優しい政治が大事だと思う。 ○ <u>選挙のしくみを調べましょう。</u> ● 18歳以上の国民に選挙権がある。 ○ <u>税金の集め方と使われ方を調べましょう。</u> ● 様々な税がある。 ● 学校や消防にも税金が使われている。 □使用教材名 教科書（新しい社会6 政治・国際編）
2	【震災復興の願いを実現する政治】 ・震災の復旧・復興に向けた国の取組を調べ，税金がどのように使われたか理解する。	○ <u>復旧や復興に向けて国はどのような取組をしたか調べよう。</u> ● 国会で補正予算を決めた。 ● 震災復興基本法を成立させた。 ● 復興特別税を納めることになった。 ● 国民が納めた税金が復旧・復興に役立っている。 □使用教材名 教科書（新しい社会6 政治・国際編） 資料集（社会科資料集6年 文溪堂）
3	【租税教室】 ・税金の種類や使われ方について知り，その必要性を理解する。 	○ <u>○身の周りのどんなものにどんな税金がかかるか調べよう。</u> ● 買い物に消費税，給料に所得税・・・ ○ <u>あなたならどの議員を選びますか。</u> ○ <u>新しい税金を考えてみよう。</u> ● ゴミ捨て税 ●ゲーム税 □使用教材名 視聴教材「ヤマトとマリンの不思議な日曜日」 （※事前視聴） 
4	【学んだことをまとめよう】 ・これまで学習してきたことをリーフレットを使ってまとめる。	○ <u>これまで税について学んだことをまとめましょう。</u> ● 安心して暮らすために税金は大切な役割を果たしている。 □使用教材名 副教材（わたしたちのくらしと税金）
5	【学んだことを広げよう】 ・学んだことをもとに，「税に関する絵はがきコンクール」「税に関する標語コンクール」に挑戦する。	○ <u>税金の大切さを伝える絵はがき，標語を考えよう。</u> □使用教材名 漫画冊子「おじいさんの赤いつぼ」 

【指導のポイント】≪1時間目≫

教科書の税金の集め方と使われ方が対比してある図から，税の種類や必要性に気付かせた。選挙と合わせて指導することで，選挙に参加することで，税金の使われ方など自分の意見を反映させることにつながるということが理解できるようにした。

【指導のポイント】≪2時間目≫

災害の復旧・復興のために国が迅速に対応し，予算や法律を成立させたことに気付かせた。復興特別税についてその役割を考えさせ，国民全員の税金が災害復興に役立つことを意識できるようにした。

【指導のポイント】≪3時間目≫

DVDを事前視聴したことで時間に余裕ができたため，税金について主体的に考えることができた。税金の使い道で議員を選ぶ，新しい税を考えるなどの活動で，税と自分との関わりの深さを感じていた。

【指導のポイント】≪5時間目≫

税金の必要性が伝わるよう，言葉や図案を考えさせた。また，全校の児童の目にとまる所に掲示した。

3 実践の成果（◎）と課題（◆）（租税教育を実施後，教諭自身の感想や児童・生徒の反応，他の教諭に対して，今後参考としてほしい事項など）

- ◎ 租税教室では，分かりやすく税金の種類や使い道について教えていただき，税金の有用性の理解を深めることができた。また，新しい税についてグループで話し合う時間があり，より主体的に税との関わりについて考えることができた。
- ◎ 学習のまとめとして取り組んだ標語や絵はがきでは，税の役割を理解した作品を作ることができた。その作品を，他学年の児童にも見てもらえる場所に掲示し，税に対する意識を高めることができた。
- ◆ 登米市の予算や税金の使われ方など，市の広報などを示したが，じっくり話し合う時間は取れなかった。自分の住む県や市の税の使われ方を調べることで，より身近に感じ，理解につながったのではないかなと思う。

租税教育実践レポート

わたしたちの暮らしと税金

登米市立錦織小学校教諭 6学年 佐藤 正彦
実施年月日 令和6年7月2日 12名

1 実践計画・指導のねらい

多くの児童は、日常生活の中で「税金」についての意識は低く、「税金」がどのように使われているか知らずに生活している児童がほとんどと言える。本実践において、社会科の授業を軸に「税金が自分たちの生活を豊かにするため」に使われており、国民が納税することが義務である意味を理解させたい。さらにゲストティーチャーを招いての租税教室を設定したり、税に関する絵はがきをかかせたりすることを通して、より「税金」への理解を深めさせていきたい。

2 単元構成・実践の指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問（○），児童の反応（●），使用教材等（□）
1	・国の政治と選挙の仕組みについて知るとともに、税金が予算に基づいて、国民の生活に活用されていることを理解する。	○ <u>国会の働きについて調べよう。</u> ● 国会は国の法律や予算を決めている。 ● 国民は選挙により、民意を反映した代表者の議員を選ぶことで政治に参加していることと、議員は予算の内容を決める役割を担っている。 □ 教科書「新しい社会6 政治・国際編」、デジタル教科書
2	・税金の働きについて調べ、公共のサービスや施設にかかわる費用の多くは、税金が活用されていることを理解する。	○ <u>税金で何ですか。</u> ● 「さとふる」ってテレビで見たことがある。 ● 消費税を払っている。 ● 税金は身近な生活で、活用され役に立っている。 □ 教科書「新しい社会6 政治・国際編」、デジタル教科書
3	・登米法人会からゲストティーチャーを招き、「租税教室」を実施し、税金の種類や使われ方、税金の必要性について理解を深める。	○ <u>税金が使われているものと使われていないものに分けよう。</u> ● 学校、公民館、消防署、警察署…は税金が使われている。 ○ <u>税金がなくなった世の中はどうなるでしょうか。</u> ● ゴミが町中にあふれてしまう。 ● 事故が起きても、警察署や救急車に来てもらえない。 □ 「マリンとヤマト 不思議な日曜日」※デジタル教材事前視聴
4	・税金について学んだことを基に、税金の大切さを絵はがきに表す。「税に関する絵はがきコンクール」に応募する。	○ <u>税金の大切さを伝える絵はがきをかこう。</u> 
5	・税金の学習で学んだことを振り返る。	○ <u>学んだことを振り返り、税金についての考えを書こう。</u> ● 納税の義務は一人一人が守るべきことであり、自分が大人になったら、税金をしっかり納めていこうと思いました。

【指導のポイント】《1時間目》
国民主権について考えさせる中で、国民の意見を反映させ、税金の使い道が決められていることに気付かせることができた。

【指導のポイント】《2時間目》
身近なところで税金がたくさん活用されていることに気付かせることができた。

【指導のポイント】《3時間目》
DVDの内容を通して税金について考えたり、クイズに答えたり、1億円のレプリカに触れたりすることを通して、税金への興味関心を高めるとともに、税金が自分たちの生活に不可欠であり、納税の義務への理解を深めさせることができた。

【指導のポイント】
《4・5時間目》
学習のまとめとして、税金の大切さを自分の言葉で表現させ、絵はがきに表現させることで、より税金の大切さを実感させることができた。

3 実践の成果（◎）と課題（◆）

- ◎ 「教科書での学習」「租税教室」「税に関するコンクールへの参加」と関連付け、多様な方法で税について考えたり、知識を身に付けたりする機会を設定したことで、税金の必要性や税金の使い道、納税の義務の意義についての理解を深めることができた。
- ◎ 外部よりゲストティーチャーを招いて学習したことで、楽しく学習に取り組ませることができた。
- ◆ 税金の種類について、詳しく学習する場面を設定できなかった。タブレットでの家庭学習を取り入れるなどの工夫が必要である。

租税教育実践レポート

わたしたちの生活と税金の関わり

登米市立石越小学校教諭 6学年 菅原 裕太

実施年月日：令和6年5月31日 37名

1 実践計画・指導のねらい

多くの児童は「消費税」という言葉を知っており、消費税が8%や10%であることも知っている。しかし、実際に税金がなんのために集められ、どのように使われているのかを理解している児童はほとんどおらず、ニュースの裏金問題などから、税金に対して、肯定的なイメージを持っている児童は少ない。そこで、本単元では、社会科の学習や、「租税教室」を通して、税金の働きや使われ方について理解し、自分たちの生活と税金の関わりについて気付かせたい。

2 単元構成・実際の指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問（○）、児童の反応（●）、使用教材等（□）	
1	【国の政治のしくみと選挙】 ・選挙のしくみと税金の種類や働きについて調べ、税金が私たちの生活にどのように関わっているのかを理解する。	○ 税金についてどのようなことを知っていますか。 ● 消費税がある ● 買い物をすると10%かかる ● 何に使われているかはあまり分からない ○ 税金はあった方がよいか、ない方がよいか。 ● 生活が苦しくなるからない方がよい □ 教科書（新しい社会6 政治・国際編 東京書籍）	【指導のポイント】≪1時間目≫ 国会では、税金の使い道について話し合っていることや、その税金の使い道を決める国会議員は選挙で選ばれていることをおさえた。
2	【国の政治のしくみと選挙】 ・国会の働きについて知り、国会は国の政治の方向を話し合ったり、国のお金の使い道を決めたりしていることを理解する。	○ 国会の働きについてまとめましょう。 ● 国会では予算や法律を決めている ● 予算を決めるということは、税金の使い道を決めるということ ● 国の事業には税金が使われている □ 教科書（新しい社会6 政治・国際編 東京書籍）	【指導のポイント】≪2時間目≫ 消費税以外の税について知らない児童が多かったため、税の種類について調べてまとめる時間を設けた。
3	【震災復興の願いを実現する政治】 ・復旧、復興に向けた国の支援について調べ、被災した人々の願いを実現するためにも税金が使われていることを理解する。	○ 震災が起きたとき、税金はどのように使われただろうか。 ● 復興特別税が使われた □ 教科書（新しい社会6 政治・国際編 東京書籍）	【指導のポイント】≪3時間目≫ 東日本大震災復興基本法や復興特別税について取り上げ、税金が震災からの復旧・復興に必要であることに気付かせた。
4	【租税教室】 ・税金の種類や、税金の使われ方について知り、その必要性について考える。	○ 税金と私たちの生活との関わりを考えよう。 ● 税金はたくさんの種類がある ● 学校や公民館などみんなが使う物には税金が使われている ● 税金があるから安心して生活をする事ができていると分かった □ 税のDVD（マリンとヤマトの不思議な日曜日）	【指導のポイント】≪4時間目≫ 佐沼税務署の方を講師として迎え、税金の基礎知識について講話をいただいた。1億円のレプリカを持つ体験をすることができ、金額の大きさを実感することにつながった。
5	【標語・絵葉書作り】 ・税金について学んだことを生かし、「税に関する標語」「税に関する絵葉書」を作成する。	○ 税金について学んだことを生かして、標語と絵葉書を作ろう。 ● 税金の働きや大切さを伝える標語を作ろう ● 税金の働きや大切さを伝えるための絵葉書を作ろう	【指導のポイント】≪5時間目≫ 税金についての学習のまとめとした。

3 実践の成果（◎）と課題（◆）（租税教育を実施後、教諭自身の感想や児童・生徒の反応、他の教諭に対して、今後参考としてほしい事項など）

- ◎ 租税教室では、クイズやDVDの視聴を通して、税金の働きを分かりやすく教えていただき、児童の多くは税金の必要性について理解することができた。
- ◎ 税に関する標語や税に関する絵葉書を作ることを通して、どのように税金が使われたらよいか考えるきっかけとなり、税金の大切さを再認識させることができた。
- ◆ 登米市の税金の使い方など、自分たちの生活にどのように反映されているのかを知ることができる資料を提示して、自分の住む地域にも関心を向けさせるよう工夫すればよかった。

租税教育実践レポート

私たちの生活と税の役割

登米市立佐沼中学校講師 3学年 上村 一帆

実施年月日：令和7年1月17日 39名

1 実践計画・指導のねらい

1 時間目に国税庁の資料を用いることで、税に関する関心を高めていき、私たちが納める税金の種類や仕組みを理解し、普段の生活は税金がなければ成り立たないことに気づく。

その後に登米市の財政に目を向けさせることで、市が行っている対策や税の使い方について理解するとともに、登米市の課題についても考える。

2 単元構成・実際の指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問（○）、生徒たちの反応（●）、使用教材等（□）
1	・私たちの生活と税の役割	○ <u>税金を納めなかったら、どのようなことが起こるか考えよう。</u> ● 学校で授業料を払えないと、退学させられる。 ● 学校に行ける家庭と行けない家庭で格差が拡大する。 ● 警察を利用するのにお金がかかり、治安が悪化する。 ● 道路の利用が全て有料になる。 □使用教材名 ・ 国税庁ホームページ記載のワークシート 「私たちの暮らしと政府の経済活動」
2	・私たちの生活と財政	○ <u>税金の公平性は保たれているのか考えよう。</u> ● 所得税が全体の 15%を占めており、高所得者は不公平に感じているのではないか。（不公平） ● 消費税は年々増税されており、高所得者が優遇されているのではないか（不公平） ● 所得税と消費税で税の仕組みが違うため、公平性は保たれていると感じる（公平） ● 税金には所得の再分配の効果があると知り、公平であると感じる（公平） □使用教材名 ・ 教科書「新しい公民」 ・ タブレット：ロイロノート
3	・財政の役割と課題	○ <u>○登米市の財政について考えよう。</u> ● 登米市は就労者を増やすための取り組みを行っている。 ● 今後人口が減少したら、民生費にかかるお金がさらに多くなるのではないか、対策を考えたい。 □使用教材名 ・ 登米市の予算とまちづくり ・ タブレット：ロイロノート

【指導のポイント】《1時間目》

税金がなかったら、どのようなことが起こるのか、グループで話し合い、クラス全体で共有を行った。

今後の授業への良い動機付けを行えた。

【指導のポイント】《2時間目》

さまざまな税金について、生徒自身にまとめさせた。逆進性や累進課税について説明を行った。

一般会計予算の割合等を比較することで、生徒の考えをひきだすことができた。

【指導のポイント】《3時間目》

「登米市のまちづくり」から市の財政状況を班でまとめ、課題を考えた。

※班で意見をまとめ、その後に班を横断して意見を交換した。

班によっては課題の対策を考えるなど学びをふかめることができた。

3 実践の成果（◎）と課題（◆）（租税教育を実施後、教諭自身の感想や児童・生徒の反応、他の教諭に対して、今後参考としてほしい事項など）

- ◎ 税金をより身近に感じる生徒が多くなり、税金の必要性を感じるようになった。
- ◆ 「登米市の予算とまちづくり」の資料だけでは、登米市の財政の特徴をつかむことが難しかった。
- ◆ 税金の種類や公平性については、資料からの読み取りや考察の時間を確保することが必要だと感じた。

租税教育実践レポート

税金の種類を学び、財政と国民の福祉について考える

登米市立中田中学校講師 3学年 菅原 由美

実施年月日：令和 7年 1月21日 36名

1 実践計画・指導のねらい

身近な公共施設やサービスを考えることで、税金の必要性を認識し、税金が我々の生活を支えていることに気づかせたい。本単元では、税金の種類や仕組みを理解するだけでなく、累進課税制度や財政の課題などを自分の言葉で説明できる力を身に付けさせたい。さらに、社会保障の仕組みを明確に理解した上で、これからの日本の少子高齢社会において、持続可能性の観点から税金の必要性を考察させたい。ペアやグループ活動を取り入れ、他者の考えも参考にしながら学習内容について深く考えられるようにしたい。

2 単元構成・実際の指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問（○）、こどもたちの反応（●）、使用教材等（□）
1	・租税教室	○ <u>税について知ろう。</u> ● 税についての現状や詳細な内容を学んだ。具体的な累進課税の納税額を計算してみる活動など、生徒が意欲的に課題に取り組んだ。 □ 資料（税務署で準備）、プロジェクター
2	私たちの生活と財政 ・財政の仕組み ・さまざまな税金 ・税金の公平性 ・財政の役割と課題	○ <u>私たちが納める税金はどのように使われているか。</u> ● 社会保障費や地方交付税交付金など多様な歳出に使われている。 ○ <u>税金の公平性を図るためにはどのような課税の方法がよいか。</u> ● 直接税と間接税など、税の種類について調べ、公平性を図るためには累進課税が必要であることを自分の言葉で説明した。 □ 教科書「新しい公民」、デジタル教科書、テレビ、AppleTV、ipad
3	社会保障の仕組み ・社会保障の役割とおこり ・社会保障の4つの柱	○ <u>日本の社会保障はどのように行われているか。</u> ● 年金・医療・子育て支援など。 ● ipadを活用して社会保障の歴史や4つの柱についてまとめる。 ○ <u>日本の将来の社会保障について考えよう。</u> ● 持続可能な社会保障制度にするためにはどのような視点が大切かを考えさせ、自分の言葉で説明させた。（共に支え合う、自分も参加できることをする。自助・共助・公助。など） □ 教科書「新しい公民」、デジタル教科書、テレビ、AppleTV、ipad
4	少子高齢化と財政 ・少子高齢化と社会保障 ・社会保険の課題 ・福祉社会の実現に向けて	○ <u>少子高齢化が日本の財政におよぼす影響を考えよう。</u> ● 今後日本が「高福祉高負担」「低福祉低負担」の社会のどちらに進むべきかを、理由を考えて説明させた。 (高福祉高負担と考える生徒が多かった。：支え合うことは大切。高福祉と考えるが負担を減らせる方法も考える必要がある。など) □ 教科書「新しい公民」、デジタル教科書、テレビ、AppleTV、ipad

【指導のポイント】《租税教室》

税務署の職員の方に、分かりやすく税について説明をしていただいた。DVDを視聴して税金の大切さを理解することができた。

【指導のポイント】《1・2時間目》

身近な税金である消費税から興味を持てるようにする。グループ形態で一人一役を与え、調べ学習を取り入れて自分の言葉で説明できるように設定した。登米市の財政については前単元で学習した。

【指導のポイント】《3時間目》

歴史的に社会保障が認められていった経緯を踏まえ、現在は、社会保障の4つの柱を基に、国民の権利を守っていることに気づかせる。

【指導のポイント】《4時間目》

国民負担率と国民所得に占める社会保障支出の割合の関係に気付かせる。また、効率や公正の観点も意識させる。

3 実践の成果（◎）と課題（◆）（租税教育を実施後、教諭自身の感想や児童・生徒の反応、他の教諭に対して、今後参考としてほしい事項など）

- ◎ 税務署の租税教室は生徒の興味もてる内容であり、租税教室がきっかけで税の仕組みについて意欲的に学習に学ぶ生徒が多かった。（租税教室では最新の資料を用いて説明している。）
- ◎ 現在の日本の財政には、具体的にどのような課題があり、自分たちがそのために何ができるかを考えるきっかけになった。
- ◎ 今後の日本の課題について、少子高齢化と社会保障や財政に関連させて自分の考えをまとめることができた。
- ◆ 資料の読み取りや重要語句の確認を行ったが、丁寧に進めていたために時間がかかってしまった。単元計画の見直しを行い、生徒の活動時間を増やす工夫が必要である。
- ◆ 租税教室（6月）と税の作文（8月）までに実施時期の間隔があるので、社会科の年間指導計画との関連も見直し、連続して集中して実施できるような構成にしていきたい。

令和6年度 租税教育推進協力者

【小学校】

(順不同)

所 属	担 任 ・ 担 当	氏 名
浅 水 小学校	6 学年	佐 藤 まゆみ 教諭
錦 織 小学校	6 学年	佐 藤 正 彦 教諭
石 越 小学校	6 学年	菅 原 裕 太 教諭

【中学校】

所 属	担 任 ・ 担 当	氏 名
佐 沼 中学校	社会科	上 村 一 帆 講師
中 田 中学校	社会科	菅 原 由 美 講師

令和6年度 登米市租税教育推進協議会 構成員名簿

(敬称略)

所 属	職 名	氏 名
登米市教育委員会	教 育 長	小 野 寺 文 晃
宮城県東部教育事務所	所 長	高 橋 秀 夫
登米市教育支援センター	所 長	箱 石 雄 吾
登米市小学校長会	会 長 (加賀野小学校長)	佐 藤 宏 明
登米市中学校長会	会 長 (南方中学校長)	菅 原 栄 夫
県北高等学校長会	登米地区代表 (佐沼高等学校長)	加 賀 谷 亮
登米市教育委員会	生涯学習課長	守 屋 乃 扶 子
登米市納税貯蓄組合連合会	会 長	三 田 静 夫
公益社団法人 登米法人会	会 長	菅 野 幸 一 郎
東北税理士会宮城県北支部 佐 沼 部 会	部 会 長	高 橋 徹
佐 沼 税 務 署	署 長	菊 池 健
宮城県東部県税事務所 登米地域事務所	所 長	土 谷 芳 和
登 米 市	税 務 課 長	高 橋 正 晴

【事務局】

佐 沼 税 務 署	総 務 課 長	鈴 木 和 孝
佐 沼 税 務 署	総 務 係 長	高 橋 一 史

歴代租税教育推進協力者

昭和61年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
南方町	西郷小	2 学年	鈴木陽子 教諭
登米町	登米小	2 学年	長谷信一 教諭
米山町	善王寺小	3 学年	熊谷仁一 教諭
迫町	北方小	4 学年	豊原 仁 教諭
南方町	南方小	6 学年	富士原啓子 教諭
迫町	佐沼小	6 学年	畠山信弘 教諭
石越町	石越中	社会科	菊田郁朗 教諭
東和町	東和中	社会科	小野寺達郎 教諭

昭和62年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
豊里町	豊里小	3 学年	今野文彦 教諭
米山町	中津山小	4 学年	伊東博敏 教諭
南方町	西郷小	4 学年	菅原満夫 教諭
登米町	登米小	5 学年	菅原純一 教諭
南方町	南方小	5 学年	成澤淑子 教諭
迫町	北方小	6 学年	中津川良子 教諭
登米町	登米中	社会科	鈴木幹雄 教諭
豊里町	豊里中	社会科	沼田芳孝 教諭

昭和63年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	北方小	1 学年	岩渕安弘 教諭
米山町	桜岡小	2 学年	海野達兄 教諭
登米町	登米小	3 学年	千葉直子 教諭
迫町	佐沼小	4 学年	飯塚 豊 教諭
東和町	嵯峨立小	5 学年	佐藤教子 教諭
東和町	米谷小	6 学年	及川茂法 教諭
米山町	米山中	社会科	及川 喬 教諭
南方町	南方中	社会科	佐藤徳明 教諭

平成元年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
中田町	石森小	2 学年	畠山蓉子 教諭
南方町	南方小	3 学年	小野寺 薦 教諭
石越町	石越小	3 学年	石山 順 教諭
迫町	新田第一小	5 学年	石合克行 教諭
米山町	米岡小	5 学年	日野 峻 教諭
東和町	米谷小	6 学年	桜井浩志 教諭
迫町	佐沼中	社会科	菊池信夫 教諭
中田町	中田中	社会科	吉野幸信 教諭

歴代租税教育推進協力者

平成2年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町 森小	5 学年	菅原 一子	教諭
中田町 石森小	6 学年	高橋 節子	教諭
南方町 南方小	5 学年	小野 寺 薦	教諭
石越町 石越小	1 学年	石 山 順	教諭
迫町 北方小	4 学年	石合 克行	教諭
米山町 米岡小	5 学年	日 野 峻	教諭
迫町 新田中	社会科	千葉 忠徳	教諭
石越町 石越中	社会科	二階 堂和夫	教諭

平成3年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町 森小	3 学年	菅原 一子	教諭
東和町 錦織小	4 学年	及川 晃史	教諭
東和町 米川小	5 学年	小野 寺 夕へ子	教諭
中田町 石森小	5 学年	高橋 節子	教諭
中田町 浅水小	5 学年	末永 澄子	教諭
中田町 加賀野小	6 学年	佐藤 美恵	教諭
登米町 登米中	社会科	矢内 昭裕	教諭
東和町 東和中	社会科	小野 寺 達郎	教諭

平成4年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町 佐沼小	3 学年	大場 し の	教諭
迫町 新田第二小	4 学年	高橋 眞理	教諭
南方町 西郷小	6 学年	齋藤 裕之	教諭
中田町 浅水小	3 学年	末永 澄子	教諭
豊里町 豊里小	5 学年	熊坂 昭子	教諭
東和町 錦織小	6 学年	及川 晃史	教諭
豊里町 豊里中	社会科	畠山 俊彦	教諭
米山町 米山中	社会科	小野 敦史	教諭

平成5年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町 新田第一小	5 学年	菊池 敏一	教諭
迫町 新田第二小	4 学年	高橋 眞理	教諭
豊里町 豊里小	6 学年	熊谷 昭子	教諭
中田町 宝江小	6 学年	須藤 勝子	教諭
米山町 善王寺小	4 学年	太 田 弥	教諭
南方町 東郷小	5 学年	千葉 一彦	教諭
中田町 中田中	社会科	畠山 俊彦	教諭
南方町 南方中	社会科	佐々木 由美	教諭

歴代租税教育推進協力者

平成6年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
南方町	東郷小	6 学年	千葉一彦 教諭
石越町	石越小	6 学年	高橋節子 教諭
中田町	桜場小	6 学年	菅原啓士 教諭
中田町	新井田小	6 学年	森田久 教諭
東和町	鱒淵小	5 学年	佐藤孝文 教諭
迫町	北方小	6 学年	高橋純 教諭
石越町	石越中	社会科	矢内昭裕 教諭
迫町	新田中	社会科	中津川英樹 教諭

平成7年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	佐沼小	6 学年	庄子裕 教諭
中田町	宝江小	6 学年	鈴木久美 教諭
東和町	嵯峨立小	6 学年	須藤勝子 教諭
登米町	登米小	5 学年	沼倉弘子 教諭
米山町	中津山小	5 学年	門田洋之 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	長南忠男 教諭
米山町	米山中	社会科	小野寺文晃 教諭
中田町	中田中	社会科	佐々木正生 教諭

平成8年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	新田第一小	6 学年	清和幸彦 教諭
登米町	登米小	6 学年	沼倉弘子 教諭
東和町	米谷小	6 学年	渋谷雄二郎 教諭
中田町	石森小	6 学年	高橋晋 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	鈴木有 教諭
米山町	中津山小	6 学年	門田洋之 教諭
石越町	石越小	T T	佐藤浩子 教諭
南方町	西郷小	5 学年	小野寺夕へ子 教諭
迫町	佐沼中	社会科	大場正浩 教諭
豊里町	豊里中	社会科	渡邊淳一 教諭

平成9年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	新田第一小	4 学年	清和幸彦 教諭
登米町	登米小	6 学年	寺川雅洋 教諭
東和町	錦織小	6 学年	石川克行 教諭
中田町	上沼中央小	6 学年	皆川寛 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	長南忠男 教諭
米山町	中津山小	6 学年	後藤俊朗 教諭
石越町	石越小	6 学年	高橋敏子 教諭
南方町	西郷小	5 学年	佐藤和枝 教諭
東和町	東和中	社会科	佐々木正生 教諭
南方町	南方中	社会科	藤浦悟 教諭

歴代租税教育推進協力者

平成10年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	新田第二小	6 学年	菅原博 教諭
登米町	登米小	6 学年	佐々木勝江 教諭
東和町	嵯峨立小	6 学年	高橋秀憲 教諭
中田町	上沼小	5 学年	鈴木典幸 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	水沼勝 教諭
米山町	桜岡小	6 学年	菅原善彦 教諭
石越町	石越小	5 学年	熱海宏明 教諭
南方町	南方小	6 学年	佐藤秀明 教諭
登米町	講師	社会科	三浦秀治 教諭
石越町	石越中	社会科	山家英樹 教諭

平成11年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	新田第二小	3 学年	菅原博 教諭
登米町	登米小	6 学年	萩田志保子 教諭
東和町	米谷小	5 学年	鈴木真理 教諭
中田町	浅水小	5 学年	佐藤教子 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	兵藤清美 教諭
米山町	中津山小	6 学年	佐藤勉 教諭
石越町	石越小	5 学年	桜井ひろみ 教諭
南方町	東郷小	5 学年	熊谷俊子 教諭
迫町	新田中	社会科	中津川英樹 教諭
米山町	米山中	社会科	石田康之 教諭

平成12年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	北方小	T T	岩渕安弘 教諭
登米町	登米小	6 学年	熱海宏明 教諭
東和町	錦織小	5 学年	菅原善彦 教諭
中田町	桜場小	5 学年	佐藤美紀子 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	後藤智子 教諭
米山町	米岡小	5 学年	秀由佳 教諭
石越町	石越小	5 学年	野里恵二 教諭
南方町	西郷小	5 学年	笹原明美 教諭
迫町	佐沼中	社会科	大場正浩 教諭
中田町	中田中	社会科	箱石雄悟 教諭

平成13年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	森小	4 学年	金野ゆかり 教諭
登米町	登米小	6 学年	飯塚市代 教諭
東和町	鱒淵小	6 学年	中井充夫 教諭
中田町	石森小	5 学年	岩渕公一 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	矢野美智代 教諭
米山町	善王寺小	5 学年	遠藤聡子 教諭
石越町	石越小	5 学年	佐藤真紀 教諭
南方町	南方小	6 学年	石井大志 教諭
東和町	東和中	社会科	高橋和芳 教諭
豊里町	豊里中	社会科	矢内昭裕 教諭

歴代租税教育推進協力者

平成14年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	森小	6 学年	千葉 ゆかり 教諭
登米町	登米小	6 学年	後藤 俊朗 教諭
東和町	米川小	5 学年	佐藤 建雄 教諭
中田町	加賀野小	5 学年	渡邊 宏紀 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	伊藤 悦子 教諭
米山町	桜岡小	6 学年	蓬田 昭彦 教諭
石越町	石越小	5 学年	庄司 紀子 教諭
南方町	東郷小	5 学年	千葉 裕子 教諭
南方町	講師	社会科	小野寺 彰哉 教諭
登米町	登米中	社会科	藤浦 悟 教諭

平成15年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	新田第二小	5 学年	門田 りえ 教諭
登米町	登米小	5 学年	三浦 教順 教諭
東和町	嵯峨立小	5 学年	加瀬 谷武敏 教諭
中田町	新井田小	6 学年	高橋 広満 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	千葉 浩幸 教諭
米山町	中津山小	5 学年	村上 喜久美 教諭
石越町	石越小	5 学年	山口 沙織 教諭
南方町	西郷小	5 学年	遠藤 恵 教諭
迫町	新田中	社会科	山家 英樹 教諭
石越町	石越中	社会科	中津川 英樹 教諭

平成16年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	北方小	6 学年	佐藤 浩人 教諭
登米町	登米小	5 学年	佐藤 裕 教諭
東和町	米谷小	6 学年	佐藤 康 教諭
中田町	宝江小	6 学年	佐藤 祥子 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	佐藤 裕志 教諭
米山町	米岡小	6 学年	阿部 孝紀 教諭
石越町	石越小	5 学年	高橋 美至 教諭
南方町	南方小	5 学年	佐々木 和枝 教諭
米山町	米山中	社会科	箱石 雄悟 教諭
中田町	中田中	社会科	吉田 淳子 教諭

平成17年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
佐沼小		6 学年	千葉 克憲 教諭
錦織小		5 学年	佐藤 理英 教諭
石森小		5 学年	鹿野 俊洋 教諭
加賀野小		6 学年	鈴木 周 教諭
中津山小		5 学年	伊藤 伸子 教諭
桜岡小		6 学年	鈴木 明美 教諭
東郷小		5 学年	千葉 裕子 教諭
柳津小		6 学年	加藤 浩二 教諭
佐沼中		社会科	伊藤 志穂 教諭
豊里中		社会科	寺内 篤 教諭

歴代租税教育推進協力者

平成18年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
新田第一小		6 学 年	秋 葉 徹 教諭
嵯峨立小		5・6 学 年	渡 邊 宏 紀 教諭
上 沼 小		6 学 年	熊 谷 真 理 子 教諭
浅 水 小		6 学 年	鈴 木 勝 彦 教諭
豊 里 小		6 学 年	寺 内 篤 教諭
善 王 寺 小		5・6 学 年	菅 原 満 夫 教諭
西 郷 小		5 学 年	千 葉 洋 子 教諭
横 山 小		5 学 年	佐 藤 秀 俊 教諭
東 和 中		社 会 科	高 橋 和 芳 教諭
南 方 中		社 会 科	菅 原 栄 治 教諭

平成19年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
新田第二小		6 学 年	永 倉 郁 裕 教諭
米 川 小		6 学 年	萩 原 達 也 教諭
鱒 淵 小		3・4 学 年	長 南 忠 男 教諭
宝 江 小		6 学 年	佐 藤 朱 美 教諭
中 津 山 小		6 学 年	米 島 久 智 教諭
米 岡 小		6 学 年	三 浦 弘 義 教諭
石 越 小		6 学 年	高 橋 聡 子 教諭
南 方 小		6 学 年	鈴 木 久 美 教諭
登 米 中		社 会 科	藤 浦 悟 教諭
津 山 中		社 会 科	飯 川 弘 芳 教諭

平成20年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
北 方 小		6 学 年	菅 原 善 彦 教諭
森 小		特 別 支 援	芳 賀 明 洋 教諭
桜 岡 小		6 学 年	千 葉 高 教諭
善 王 寺 小		6 学 年	菅 原 満 夫 教諭
中 津 山 小		6 学 年	村 上 喜 久 美 教諭
米 谷 小		5 学 年	佐 々 木 里 香 教諭
石 森 小		5 学 年	澁 谷 智 樹 教諭
加 賀 野 小		6 学 年	大 友 厚 子 教諭
新 田 中		社 会 科	箱 石 雄 悟 教諭
石 越 中		社 会 科	田 口 勇 介 教諭

平成21年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
佐 沼 小		6 学 年	千 葉 恵 理 子 教諭
森 小		5 学 年	鈴 木 淳 教諭
錦 織 小		6 学 年	芳 賀 明 洋 教諭
浅 水 小		6 学 年	小 野 寺 博 美 教諭
米 岡 小		6 学 年	佐 藤 英 明 教諭
南 方 小		6 学 年	高 橋 敏 子 教諭
柳 津 小		6 学 年	菅 原 満 夫 教諭
佐 沼 中		社 会 科	小 山 紘 明 教諭
米 山 中		社 会 科	守 康 幸 教諭

歴代租税教育推進協力者

平成22年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
北 方 小	6 学 年	皆 川 寛	教諭
米 谷 小	社会科 主任	小 畠 宏 夫	教諭
石 森 小	5 学 年	澁 谷 智 樹	教諭
上 沼 小	6 学 年	佐 藤 美 紀 子	教諭
中 津 山 小	6 学 年	伊 藤 秀 樹	教諭
石 越 小	6 学 年	幡 江 真 穂	教諭
東 郷 小	6 学 年	鈴 木 有	教諭
横 山 小	6 学 年	及 川 信 太 郎	教諭
豊 里 中	社 会 科	井 上 鮎 香	教諭
南 方 中	社 会 科	富 安 隆 文	教諭

平成23年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
新 田 小	6 学 年	箱 石 雄 悟	教諭
登 米 小	6 学 年	伊 藤 敬	教諭
米 川 小	6 学 年	渡 邊 宏 紀	教諭
宝 江 小	6 学 年	進 藤 俊 博	教諭
豊 里 小	6 学 年	小 野 寺 美 和	教諭
米 山 東 小	6 学 年	五 十 嵐 裕 子	教諭
西 郷 小	6 学 年	長 南 忠 男	教諭
柳 津 小	5 学 年	菅 原 満 夫	教諭
中 田 中	社 会 科	中 津 川 英 樹	教諭
津 山 中	社 会 科	飯 川 弘 芳	教諭

平成24年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
佐 沼 小	6 学 年	関 根 大 悟	教諭
森 小	6 学 年	後 藤 智 子	教諭
錦 織 小	2 学 年	芳 賀 明 洋	教諭
加 賀 野 小	6 学 年	加 藤 め ぐ み	教諭
浅 水 小	6 学 年	山 田 紀 子	教諭
米 岡 小	6 学 年	佐 藤 正 彦	教諭
南 方 小	4 学 年	大 槻 征 玄	教諭
東 郷 小	6 学 年	後 藤 大 典	教諭
東 和 中	社 会 科	藤 浦 悟	教諭
石 越 中	社 会 科	伊 藤 圭	講師

平成25年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
北 方 小	6 学 年	佐 藤 純	教諭
米 谷 小	6 学 年	阿 部 孝 紀	教諭
石 森 小	5 学 年	千 葉 裕 子	教諭
上 沼 小	6 学 年	佐 藤 勉	教諭
中 津 山 小	5 学 年	菅 原 真 理	教諭
石 越 小	6 学 年	門 田 洋 之	教諭
西 郷 小	6 学 年	佐 藤 眞 紀	教諭
横 山 小	教 務 主 任	鈴 木 明 美	教諭
登 米 中	社 会 科	遠 藤 孝	講師
米 山 中	社 会 科	清 水 裕 治	教諭

歴代租税教育推進協力者

平成26年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
新田小	6 学 年	鈴木 健太郎	教諭
登米小	6 学 年	伊藤 敬	教諭
米川小	6 学 年	高橋 寛	教諭
宝江小	6 学 年	鈴木 真亀子	教諭
豊里小	6 学 年	千葉 恵理子	教諭
米山東小	6 学 年	五十嵐 裕子	教諭
南方小	社 会 科	後藤 善史	教頭
柳津小	教 務 主 任	菅原 満夫	教諭
新田中	社 会 科	箱石 雄悟	教諭
豊里中	社 会 科	中津川 秀樹	教諭

平成27年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
佐沼小	6 学 年	佐々木 理	教諭
錦織小	教 務 主 任	岩 渕 安弘	教諭
加賀野小	6 学 年	小幡 秀明	教諭
米岡小	6 学 年	佐藤 智之	教諭
石越小	6 学 年	門田 洋之	教諭
東郷小	6 学 年	金野 ゆかり	教諭
佐沼中	社 会 科	及川 正生	教諭
中田中	社 会 科	白石 善郎	教諭

平成28年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
北方小	6 学 年	佐藤 純	教諭
米川小	6 学 年	佐藤 理英	教諭
上沼小	6 学 年	佐藤 秀明	教諭
中津山小	6 学 年	鈴木 周一	教諭
南方小	6 学 年	佐藤 ゆかり	教諭
横山小	教 務 主 任	浅野 克樹	教諭
東和中	社 会 科	林 佳舗	講師
南方中	社 会 科	鈴木 一郎	教諭

平成29年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
新田小	6 学 年	高橋 慎	教諭
米谷小	6 学 年	阿部 亘平	教諭
石森小	6 学 年	高橋 寛	教諭
浅水小	6 学 年	佐藤 眞紀	教諭
西郷小	3 学 年	佐々木 芽衣子	教諭
柳津小	5 学 年	佐藤 育子	教諭
石越中	社 会 科	箱石 雄悟	教諭
津山中	社 会 科	白石 善郎	教諭

歴代租税教育推進協力者

平成30年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
佐 沼 小	6 学 年	鈴木 一郎	教諭
登 米 小	6 学 年	後 藤 步	教諭
錦 織 小	6 学 年	岩 渕 安 弘	教諭
宝 江 小	6 学 年	遠 藤 寛 樹	教諭
豊 里 小	6 学 年	皆 川 玲 奈	教諭
米 山 東 小	6 学 年	千 葉 美 由 紀	教諭
登 米 中	社 会 科	中 津 川 英 樹	教諭
米 山 中	社 会 科	清 水 裕 治	教諭

令和元年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
上 沼 小	6 学 年	村 上 喜 久 美	教諭
浅 水 小	6 学 年	及 川 史 子	教諭
中 津 山 小	6 学 年	林 智 美	教諭
米 岡 小	6 学 年	高 橋 宏 典	教諭
石 越 小	6 学 年	二 階 堂 奈 々	教諭
横 山 小	6 学 年	佐 藤 祐 子	教諭
佐 沼 中	社 会 科	田 口 直 彦	教諭
東 和 中	社 会 科	伊 勢 健 二	教諭

令和2年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
北 方 小	6 学 年	三 浦 幸 恵	教諭
米 谷 小	6 学 年	川 村 愛	教諭
錦 織 小	6 学 年	瀬 渕 文 康	教諭
石 越 小	6 学 年	石 川 裕 佳 子	教諭
西 郷 小	6 学 年	高 橋 久 美 子	教諭
柳 津 小	6 学 年	鈴 木 操	教諭
中 田 中	社 会 科	木 村 伸	教諭
豊 里 中	社 会 科	遠 藤 孝	教諭

令和3年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
佐 沼 小	6 学 年	高 橋 幸 恵	教諭
米 川 小	6 学 年	三 浦 咲 稀	教諭
加 賀 野 小	教 務 主 任	加 藤 英 樹	主幹教諭
豊 里 小	6 学 年	三 浦 幸 恵	教諭
南 方 小	6 学 年	佐 藤 光 史	教諭
東 郷 小	6 学 年	千 葉 崇 峰	教諭
東 和 中	社 会 科	佐 藤 文	教諭
南 方 中	社 会 科	吉 田 正 一 郎	教諭

歴代租税教育推進協力者

令和4年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
新田小	小	6 学年	鈴木 美樹 教諭
登米小	小	6 学年	佐藤 正彦 教諭
宝江小	小	6 学年	佐藤 日向 教諭
中津山小	小	6 学年	袋 由利 教諭
米岡小	小	6 学年	及川 まゆみ 教諭
柳津小	小	6 学年	加茂 篤思 教諭
登米中	中	社会科	中津川 英樹 教諭
津山中	中	社会科	藤浦 悟 主幹教諭

令和5年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
北方小	小	6 学年	小川 裕輔 教諭
米谷小	小	6 学年	成澤 綾香 教諭
石森小	小	6 学年	鈴木 理英 教諭
上沼小	小	6 学年	千葉 美香 教諭
米山東小	小	6 学年	三塚 佑菜 教諭
津山小	小	6 学年	西條 裕之 教諭
新田中	中	社会科	清水 裕治 教諭
石越中	中	社会科	油井 芳人 教諭

令和6年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
浅水小	小	6 学年	佐藤 まゆみ 教諭
錦織小	小	6 学年	佐藤 正彦 教諭
石越小	小	6 学年	菅原 裕太 教諭
佐沼中	中	社会科	上村 一帆 講師
中田中	中	社会科	菅原 由美 講師

令和 7 年 3 月

発行者 登米市租税教育推進協議会

租税教育用教材・資料・DVD等に関するご意見、ご要望を下記までお寄せください。

佐沼税務署 総務課（事務局） 電話番号：0220－22－2501(代表)